

近現代中国住宅地における 田園都市論の導入と展開



講師—包 慕萍 (大和大学教授)

1898年にイギリスのエベネザー・ハワードが提唱した田園都市論は20世紀の全世界の都市計画や住宅地形成に絶大な影響を及ぼした。日本を初め、中国、韓国などの東アジア地域も例外ではなかった。本講演では、中国の大連、上海、広州の事例を以て、近代中国での田園都市論の導入と展開を論じる。各地区で事業を展開したデベロッパーは、日本、フランスの会社と広州市政府とそれぞれが異なり、住宅地計画から住戸プランまでの差異を指摘し、中国住宅地における近代化のルーツの多様性と複雑性を分析する。

【参加無料・要申込】

参加申込み+会場地図
会場定員 15名(先着順)



2025/12/13(土)15:30-17:30 西山卯三記念すまい・まちづくり文庫 (木津川市兜台6-6-4)